

# 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

## 調査結果概要

令和6年5月

こども未来部 子育て支援課

# 1. 調査方法・有効回答率

## 1 調査の目的

令和7年度からの5年間を計画期間とする「豊橋市こども計画（第3期豊橋市子ども・子育て応援プラン）」を策定するにあたり、教育・保育・子育て支援事業の利用状況や今後の利用希望を把握するとともに、子育てに関する生活実態や要望・意見などを把握することを目的とする。

## 2 調査期間

令和5年10月10日から令和5年11月2日

## 3 調査区分及び回答方法

対象区分	児童年齢	調査票配布方法	回収・回答方法
就学前児童保護者	0～2歳	郵送	郵送又はweb回答
	3～5歳	保育園等を通じて配布	園による回収又はweb回答
就学児童保護者	6～11歳	小学校等を通じて配布	学校による回収

## 4 有効回答率

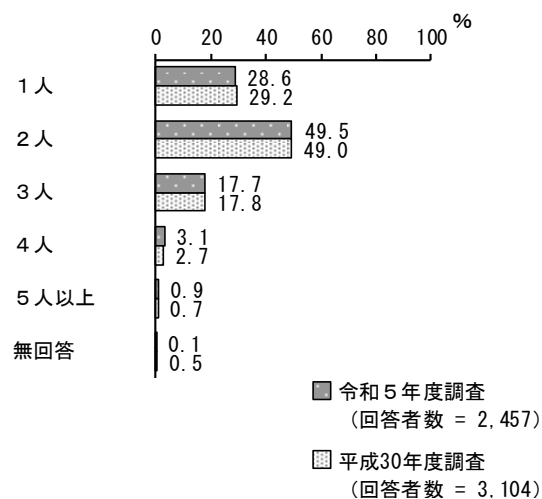
対象区分	配布数	有効回答数	有効回答率(前回)
就学前児童保護者	6,368通	2,457通	38.6%(55.3%)
就学児童保護者	4,247通	2,420通	57.0%(73.7%)
全体	10,615通	4,877通	45.9%(63.4%)

## 2. 家庭環境

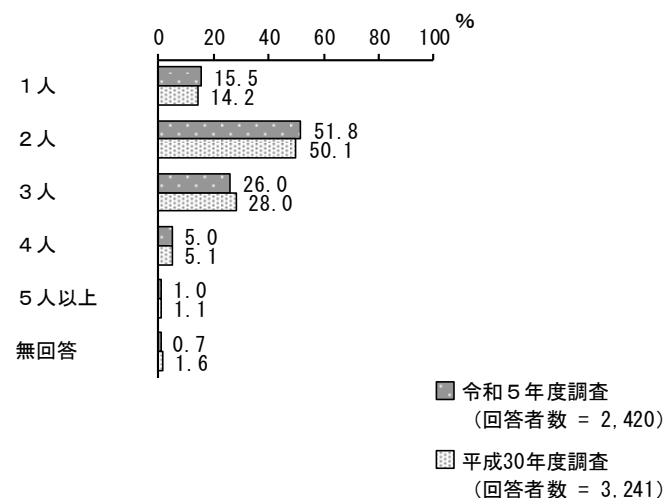
### (1) 子どもの人数

- ▶ 就学前児童、就学児童ともに「2人」の割合が約5割となっています。平成30年度調査と比較すると、子どもの人数に大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

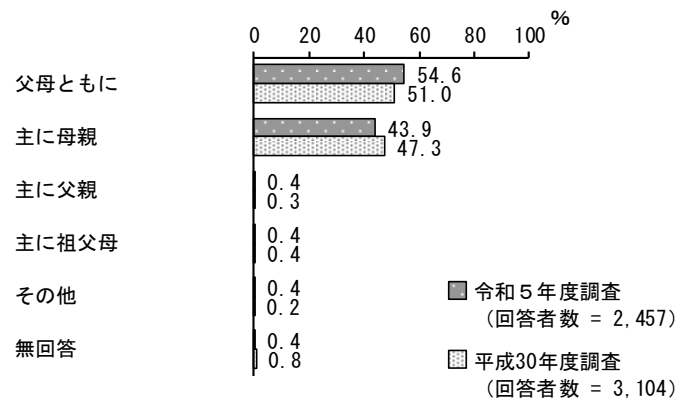


## 2. 家庭環境

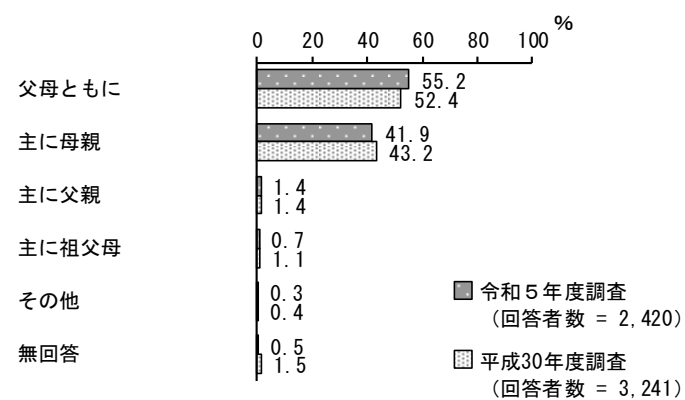
### (2) 子育てを主に行っている人

- ▶ 就学前児童、就学児童ともに「父母ともに」の割合が5割を超え最も高く、次いで「主に母親」が約4割と高くなっています。平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少し、「父母ともに」の割合が増加しており、子育てに深く関わる父親が増えている傾向がみられます。

【就学前児童】



【就学児童】

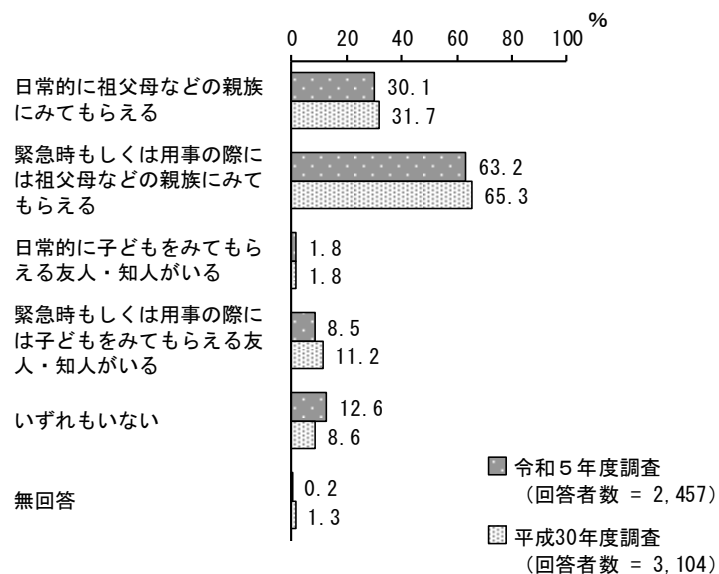


## 2. 家庭環境

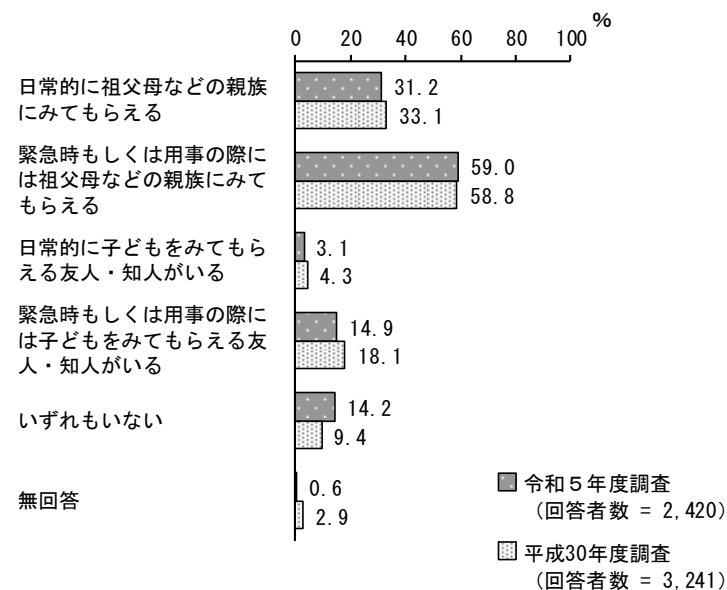
### (3) 子どもをみてもらえる人の有無

- ▶ 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が就学前児童、就学児童ともに約6割と最も高くなっており、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」の割合が約3割となっています。一方、日常的や緊急時に子どもをみてもらえる親族や知人がいない割合は就学前児童、就学児童ともに1割を超えており、平成30年度調査から増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

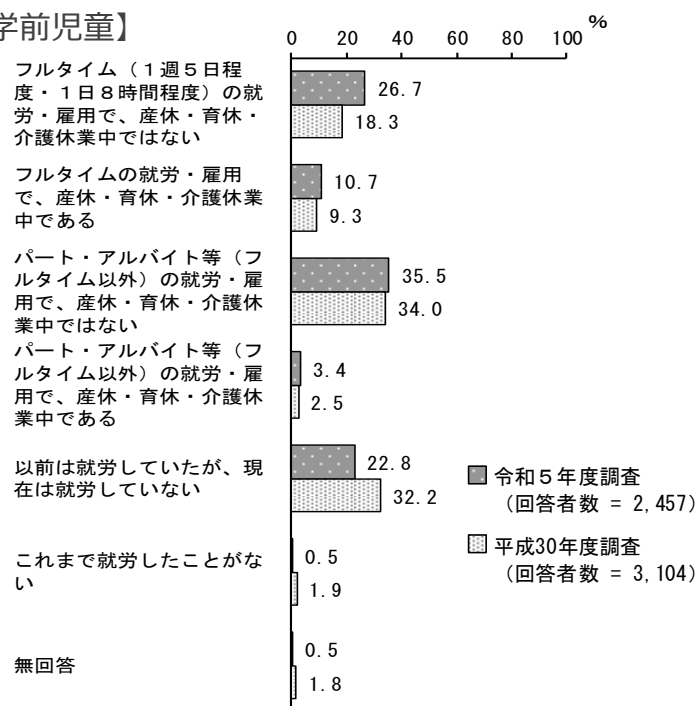


## 3. 保護者の就労状況

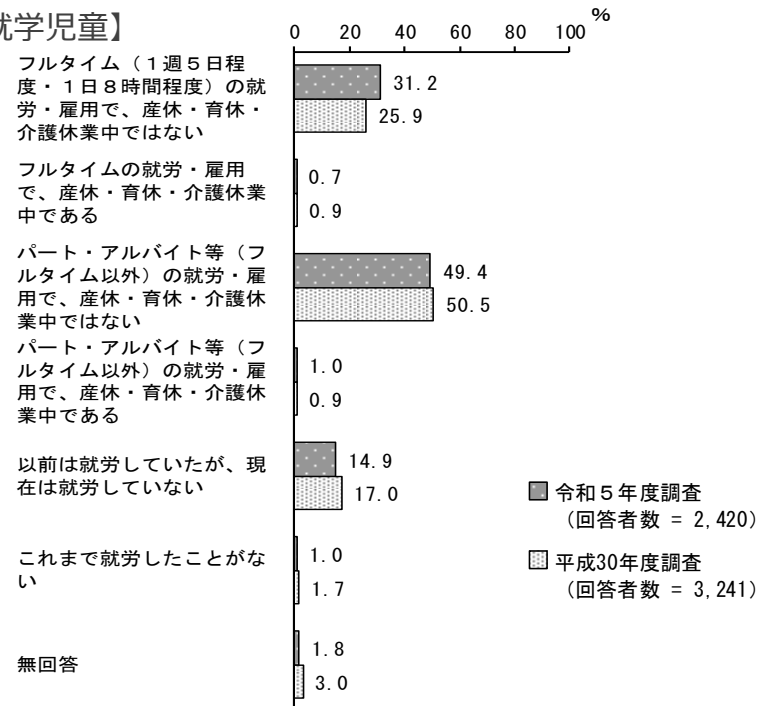
### (1) 母親の状況

- ▶ 就学前児童では、「フルタイム」「パート・アルバイト等」の割合がそれぞれ約4割、「就労していない」の割合が約2割となっています。就学児童では、「フルタイム」の割合が約3割、「パート・アルバイト等」の割合が約5割、「就労していない」の割合が1割半ばとなっています。
- ▶ 平成30年度調査と比較すると、特に就学前児童で、「フルタイム」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しており、妊娠・出産後も仕事を辞めずに、フルタイムでの就労・雇用を継続している人が増えていることがうかがえます。

【就学前児童】



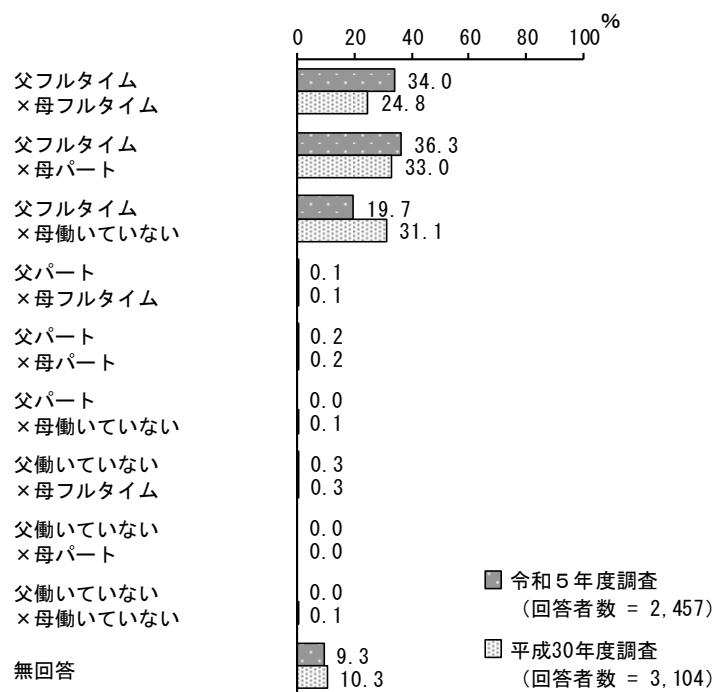
【就学児童】



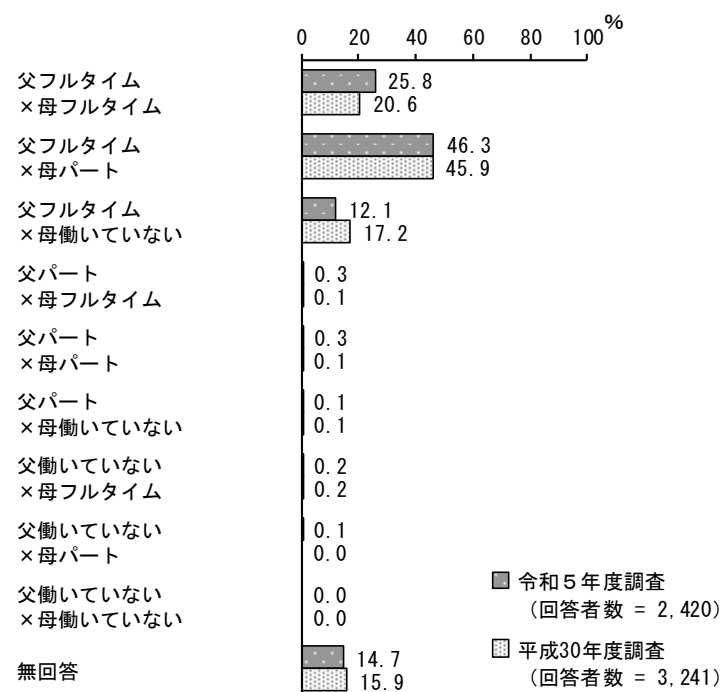
## 3. 保護者の就労状況 (2) 共働きの状況

- ▶ 就学前児童では、「父フルタイム×母パート」の割合が36.3%と最も高く、次いで「父フルタイム×母フルタイム」の割合が34.0%、「父フルタイム×母働いていない」の割合が19.7%となっています。
- ▶ 就学児童では、「父フルタイム×母パート」の割合が46.3%と最も高く、次いで「父フルタイム×母フルタイム」の割合が25.8%、「父フルタイム×母働いていない」の割合が12.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

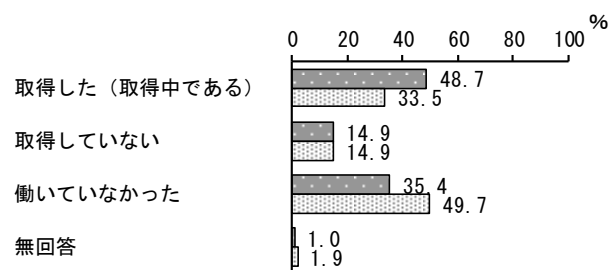


## 4. 育児休業の取得状況

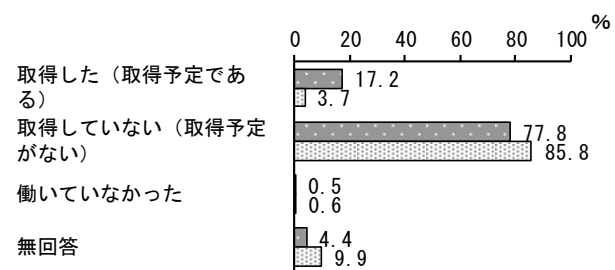
### (1) 父母の取得状況

- ▶ 母親では、「取得した（取得中である）」の割合は48.7%で、働いていなかった人を除いた育児休業の取得率は76.5%となり、平成30年度調査の取得率69.1%から7.4ポイント増加しています。
- ▶ 父親では、「取得した（取得予定である）」の割合は17.2%で、働いていなかった人を除いた育児休業の取得率は18.1%となり、平成30年度調査の取得率4.1%から14.0ポイント増加しています。

【母親（就学前）】



【父親（就学前）】



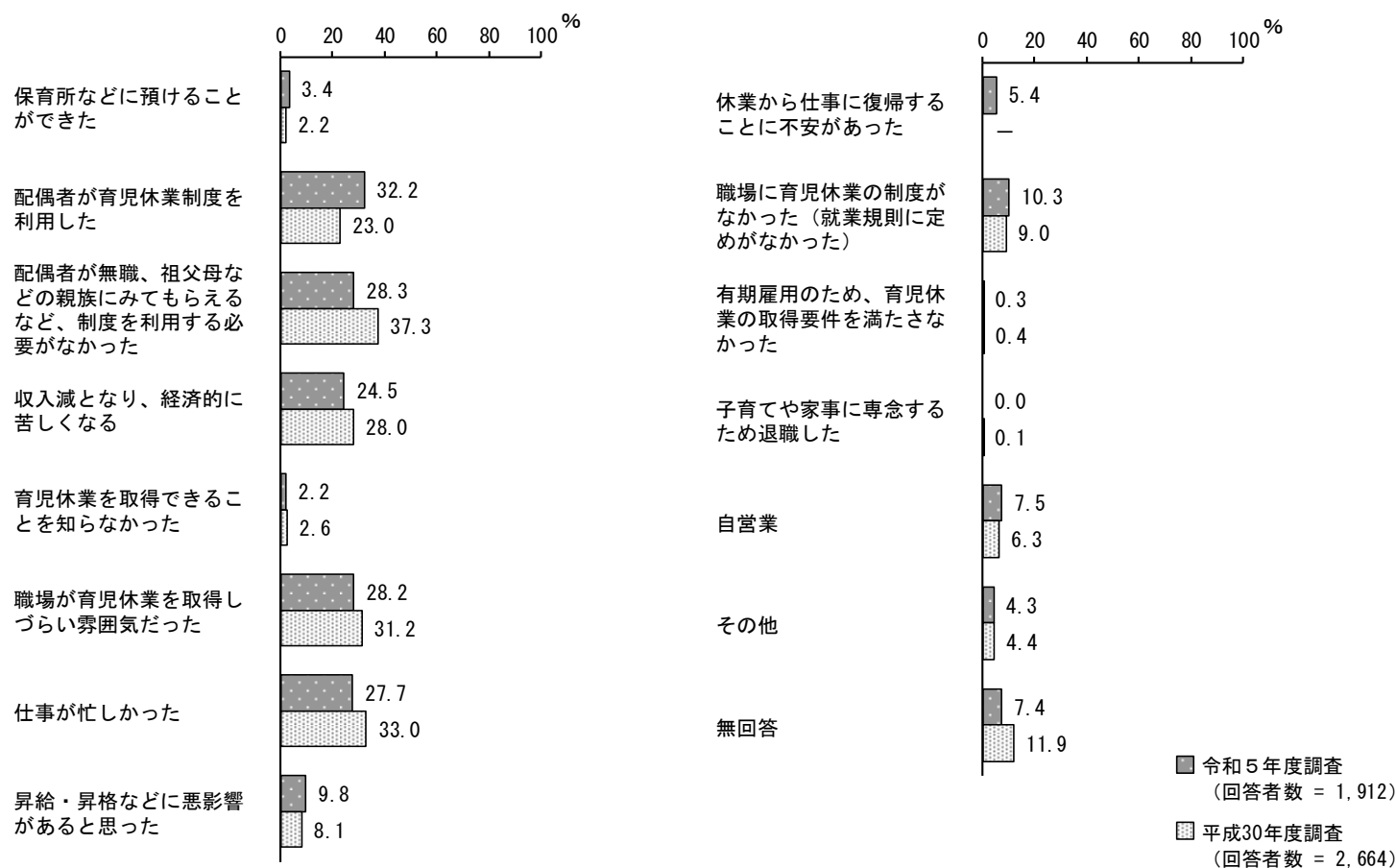
■ 令和5年度調査  
(回答者数 = 2,457)

▨ 平成30年度調査  
(回答者数 = 3,104)



## 4. 育児休業の取得状況 (2) 父親の取得していない理由

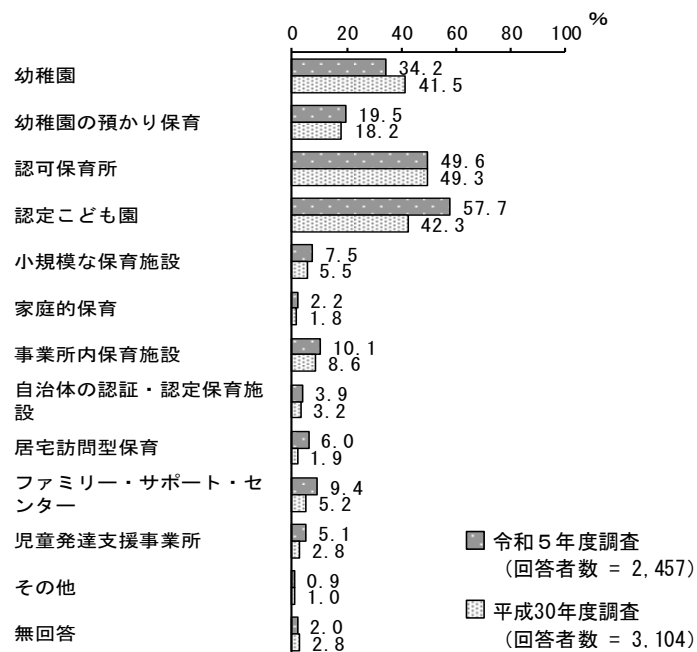
- ▶ 平成30年度調査からは減少しているものの、「職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった」「仕事が忙しかった」の職場環境に起因する割合が、それぞれ3割近くとなっています。



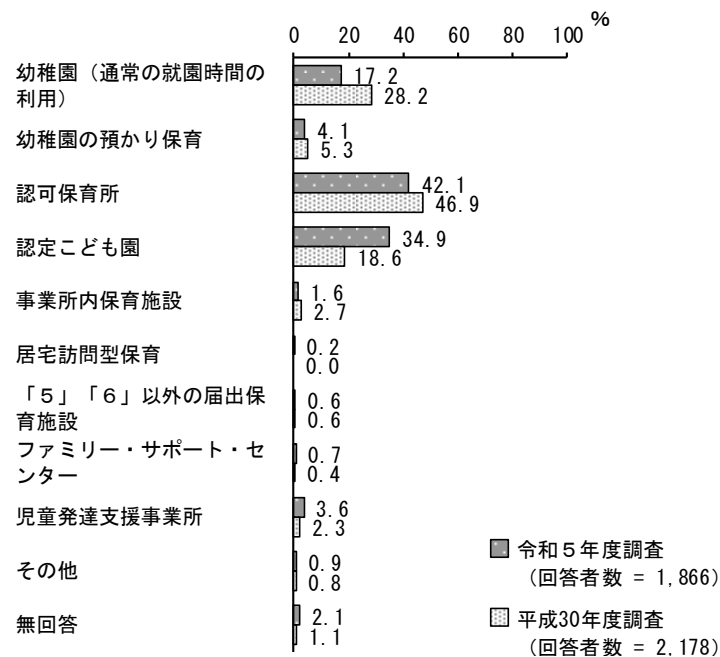
## 5. 乳児期の教育・保育の利用

- ▶ 現在、利用している、利用していないにかかわらず、子どもの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業について、「認定こども園」を希望する割合が約6割と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が約5割となっています。
- ▶ 実際に利用している事業については、「認可保育所」の割合が約4割と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が3割半ばとなっています。

【希望（就学前）】



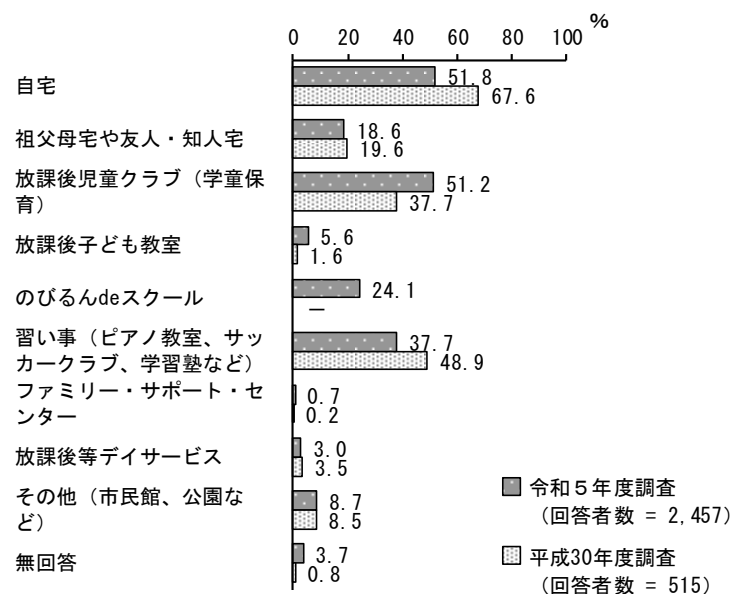
【実際（就学前）】



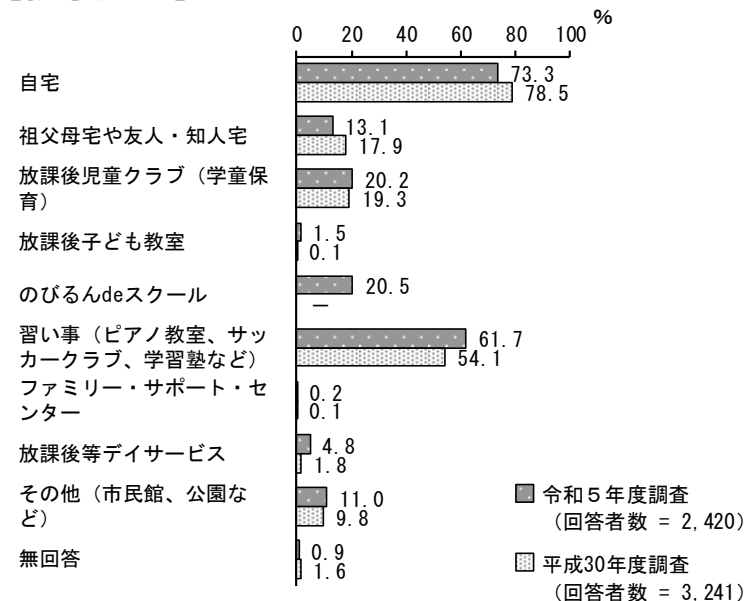
## 6. 小学校の放課後の過ごし方

- ▶ 小学校の放課後に過ごさせたいと思う場所について、「自宅」の割合が就学前児童では約5割、就学児童では約7割と最も高くなっています。また、就学前児童では「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が約5割、就学児童では、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が約6割と二番目に高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】

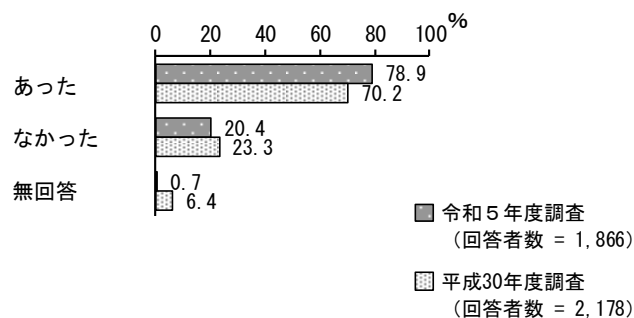


## 7. 子どもの病気の際の対応

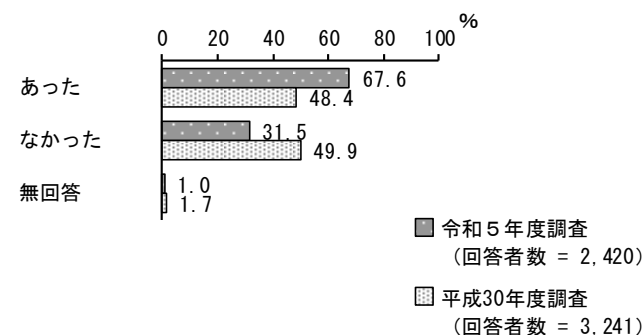
### (1) 教育・保育事業が利用できなかったことの有無

- ▶ 子どもの病気やケガで利用している教育・保育事業が、この1年間で利用できなかったことについて、就学前児童で約8割、就学児童で7割が「あった」と回答しています。平成30年度調査と比較すると、就学前児童で8.7ポイント、就学児童で19.2ポイント増加しています。

【就学前児童】



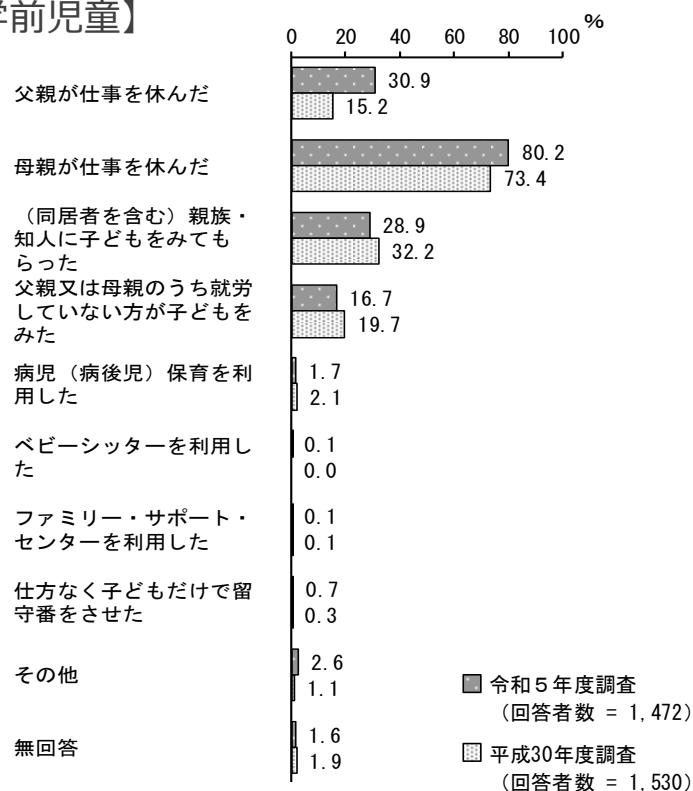
【就学児童】



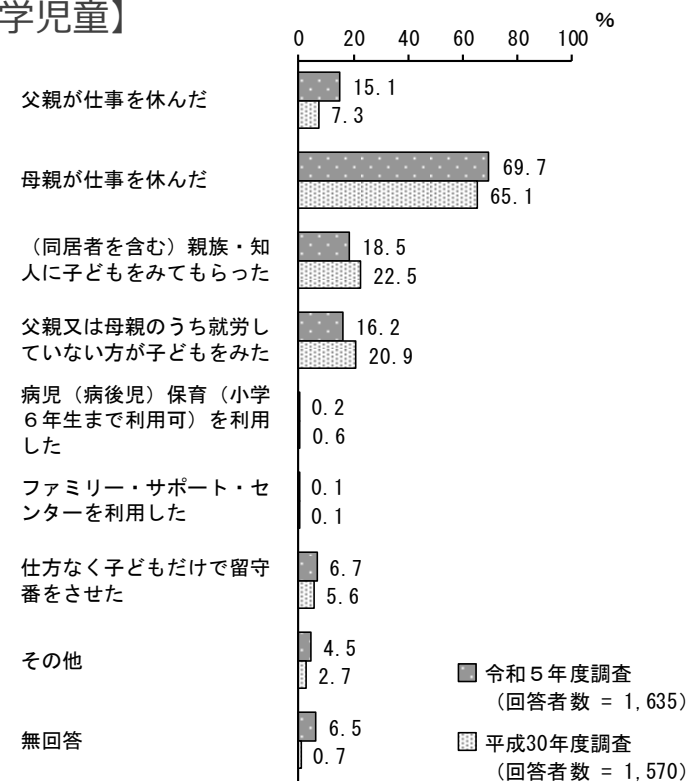
## 7. 子どもの病気の際の対応 (2) 子どもが休んだときの対処方法

- ▶ 「父親が仕事を休んだ」の割合が、平成30年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに2倍以上となっています。フルタイムで就労する母親の割合が増加していることに加え、特に子どもの年齢が低いほどその割合が高い傾向があることから、子どもの年齢が低い世帯の方が、父親が積極的に育児に関わっている状況がうかがえます。

【就学前児童】



【就学児童】

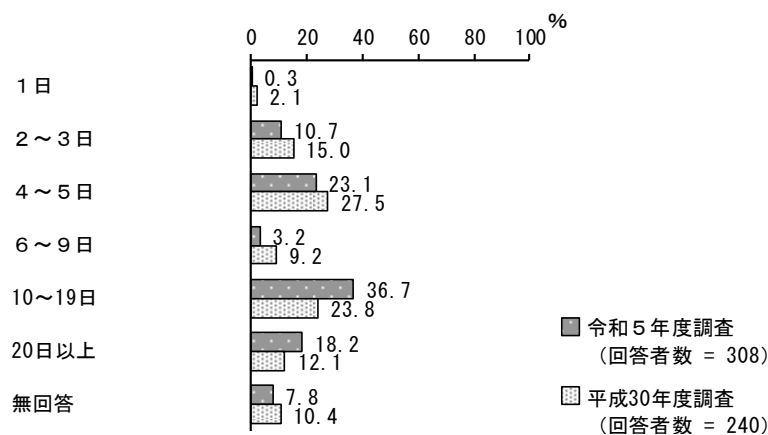
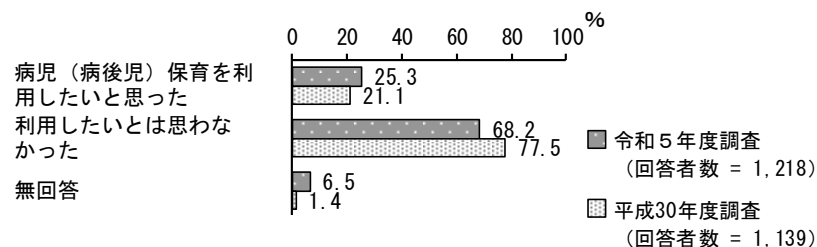


## 7. 子どもの病気の際の対応

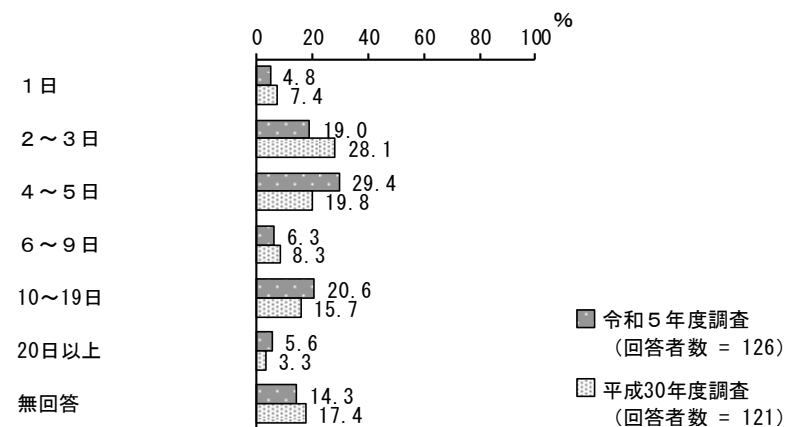
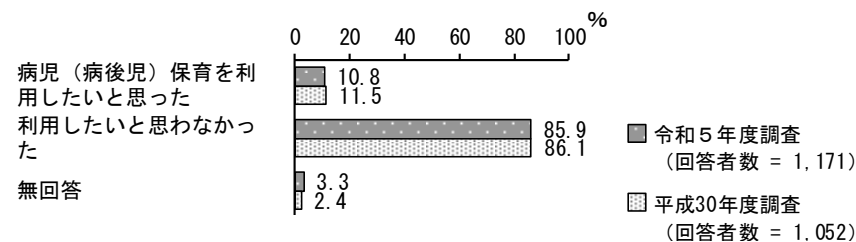
### (3) 病児保育の利用希望

- ▶ 父母が仕事を休んで対処した世帯における病児（病後児）保育の利用希望について、平成30年度調査と比較すると、希望する割合に大きな変化はみられませんが、希望する利用日数では、10日以上を希望する割合が増加するなど、全般的に希望日数の増加傾向がみられます。

#### 【就学前児童】



#### 【就学児童】



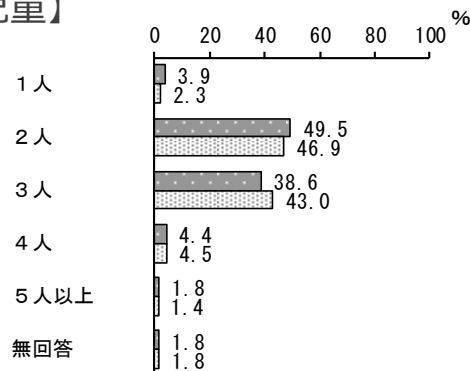
## 8. 出産や子育てへの支援

### (1) 理想とする子どもの人数と実際の人数

- ▶ 理想とする子どもの人数について、「2人」の割合が就学前児童で約5割、就学児童で約4割と最も高くなっています。実際（予定）の子どもの人数についても、「2人」の割合が就学前児童、就学児童ともに約5割と同様の傾向となっています。また、理想とする子どもの人数で「3人」の割合は、就学前児童、就学児童ともに、平成30年度調査に引き続き減少傾向となっています。

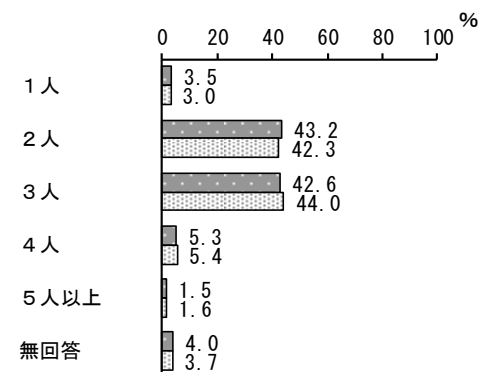
【就学前児童】

〔理想〕

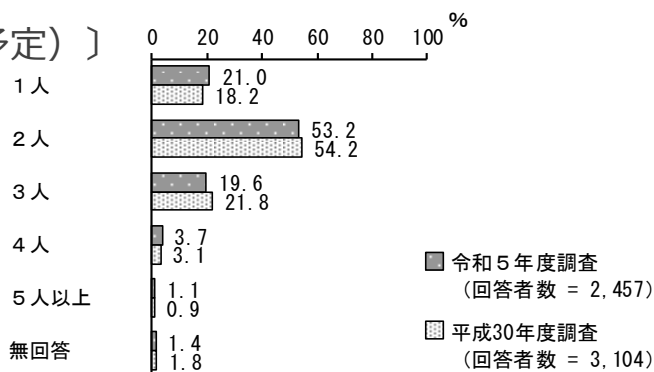


【就学児童】

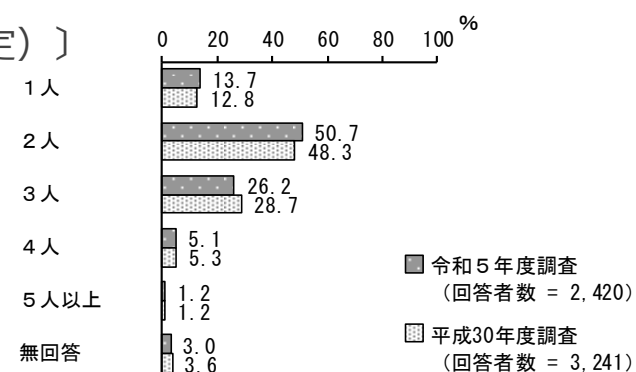
〔理想〕



〔実際（予定）〕

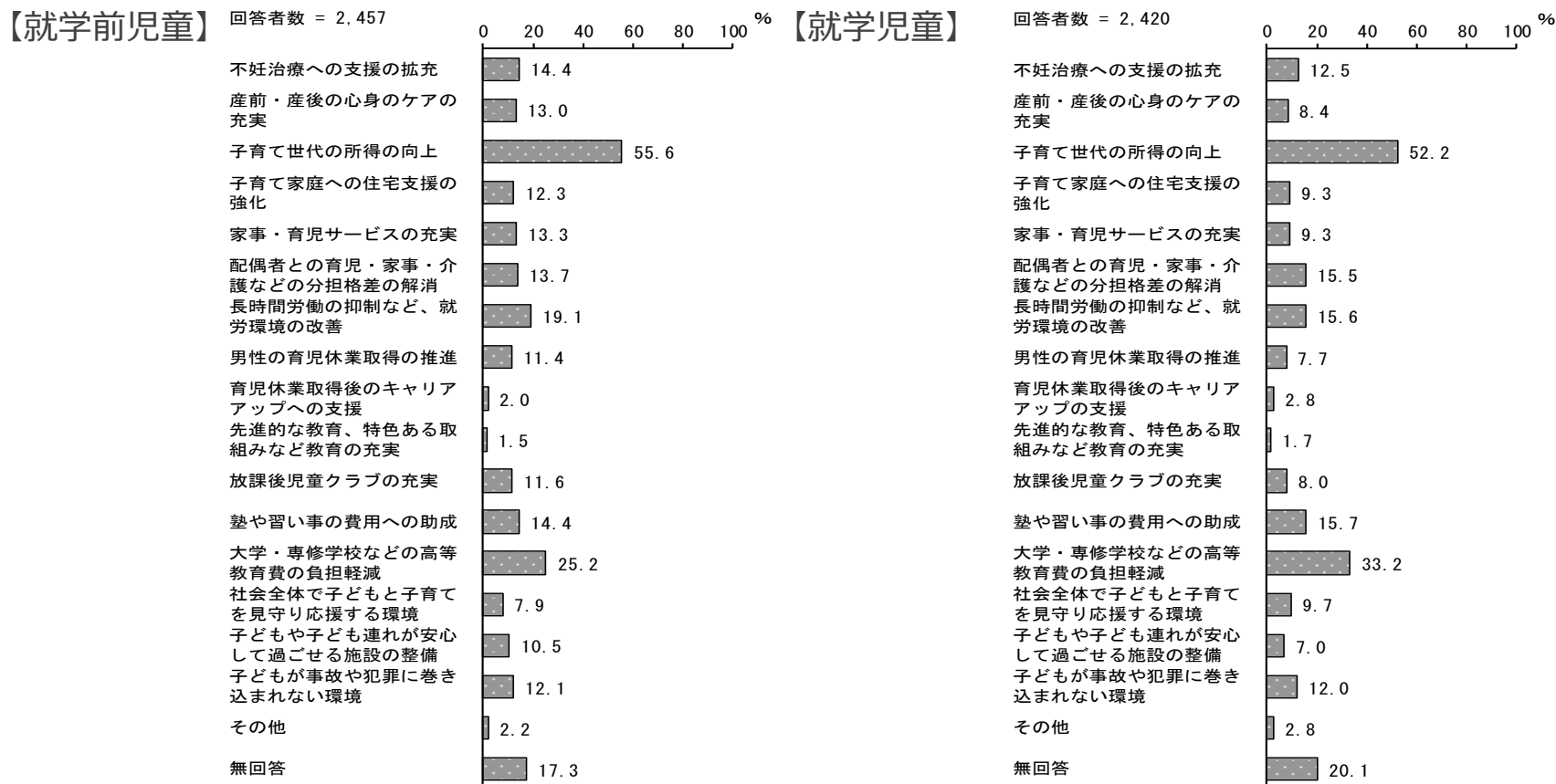


〔実際（予定）〕



## 8. 出産や子育てへの支援 (2) 理想とする子どもの人数を実現するための支援

- ▶ 「子育て世代の所得の向上」の割合が就学前児童、就学児童ともに最も高くなっており、次いで「大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減」の割合が高く、また、子どもの人数が多いほどその割合が高くなっている傾向がみられます。





## 8. 出産や子育てへの支援 (3) 子どもの人数別の希望【就学前児童】

区分	回答者数(件)	不妊治療への支援の拡充	産前・産後の心身のケアの充実	子育て世代の所得の向上	子育て家庭への住宅支援の強化	家事・育児サービスの充実	配偶者との育児・家事・介護などの分担格差の解消	長時間労働の抑制など、就労環境の改善	男性の育児休業取得の推進	育児休業取得後のキャリアアップへの支援
全体	2,457	14.4	13.0	55.6	12.3	13.3	13.7	19.1	11.4	2.0
1人	703	20.2	13.8	52.1	14.5	13.1	13.5	19.2	13.7	1.1
2人	1,217	13.5	13.3	57.4	11.2	14.1	14.1	20.2	11.2	3.0
3人	435	10.6	10.8	54.0	11.5	12.6	12.6	16.8	8.5	1.1
4人	77	1.3	16.9	66.2	10.4	7.8	13.0	15.6	13.0	1.3
5人以上	22	—	4.5	68.2	22.7	13.6	18.2	13.6	9.1	—

区分	先進的な教育、特色ある取組みなど教育の充実	放課後児童クラブの充実	塾や習い事の費用への助成	大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境	子どもや子ども連れが安心して過ごせる施設の整備	子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境	その他	無回答
全体	1.5	11.6	14.4	25.2	7.9	10.5	12.1	2.2	17.3
1人	1.8	9.8	8.4	21.9	6.4	10.2	12.1	2.8	18.6
2人	1.5	13.0	14.2	24.7	7.4	10.9	11.0	2.0	16.6
3人	1.4	10.8	21.6	28.5	12.2	9.2	14.9	1.8	18.4
4人	1.3	11.7	23.4	39.0	3.9	14.3	13.0	2.6	13.0
5人以上	—	—	31.8	40.9	9.1	9.1	13.6	—	13.6

## 8. 出産や子育てへの支援 (4) 子どもの人数別の希望【就学児童】

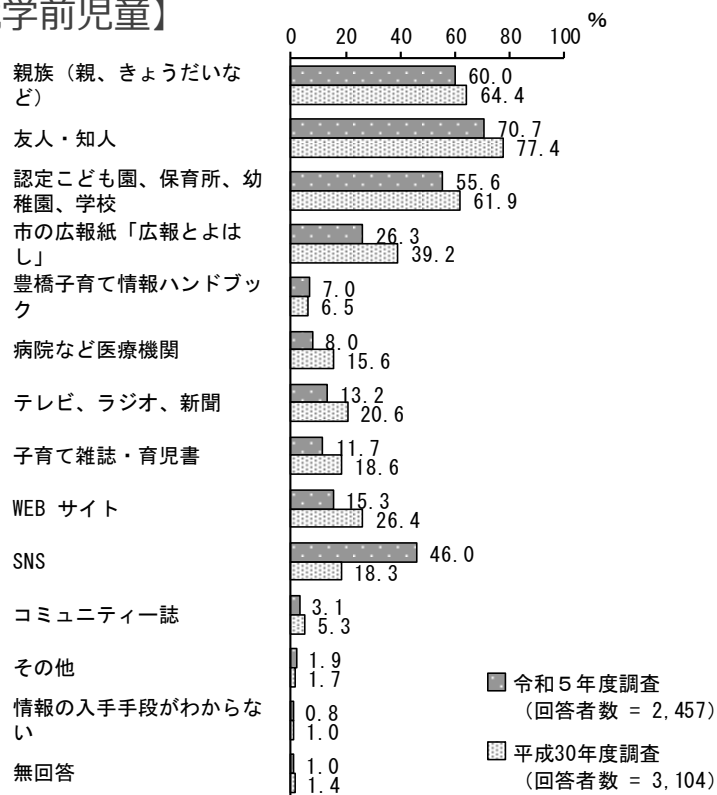
区分	回答者数(件)	不妊治療への支援の拡充	産前・産後の心身のケアの充実	子育て世代の所得の向上	子育て家庭への住宅支援の強化	家事・育児サービスの充実	格差の解消 配偶者との育児・家事・介護などの分担	長時間労働の抑制など、就労環境の改善	男性の育児休業取得の推進	育児休業取得後のキャリアアップの支援
全体	2,420	12.5	8.4	52.2	9.3	9.3	15.5	15.6	7.7	2.8
1人	376	20.7	10.9	48.9	9.8	9.0	13.6	14.6	7.7	1.6
2人	1,254	12.2	8.1	52.3	8.9	10.3	17.3	16.5	7.7	3.0
3人	630	8.6	7.9	52.7	9.4	8.6	14.6	15.4	7.9	3.0
4人	120	12.5	7.5	56.7	12.5	6.7	10.8	10.8	4.2	2.5
5人以上	23	4.3	8.7	56.5	8.7	—	4.3	4.3	8.7	—

区分	先進的な教育、特色ある取り組みなど教育の充実	放課後児童クラブの充実	塾や習い事の費用への助成	大学・専修学校などの高等教育費の負担軽減	社会全体で子どもと子育てを見守り応援する環境	子どもや子ども連れが安心して過ごせる施設の整備	子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境	その他	無回答
全体	1.7	8.0	15.7	33.2	9.7	7.0	12.0	2.8	20.1
1人	1.6	7.4	10.9	24.2	11.4	5.6	10.9	5.9	21.3
2人	1.8	8.9	14.7	31.9	9.6	7.4	11.9	2.6	19.9
3人	1.6	7.0	18.4	38.9	8.7	7.0	13.2	1.3	20.8
4人	1.7	6.7	24.2	42.5	11.7	7.5	12.5	3.3	16.7
5人以上	—	4.3	13.0	47.8	4.3	8.7	—	8.7	21.7

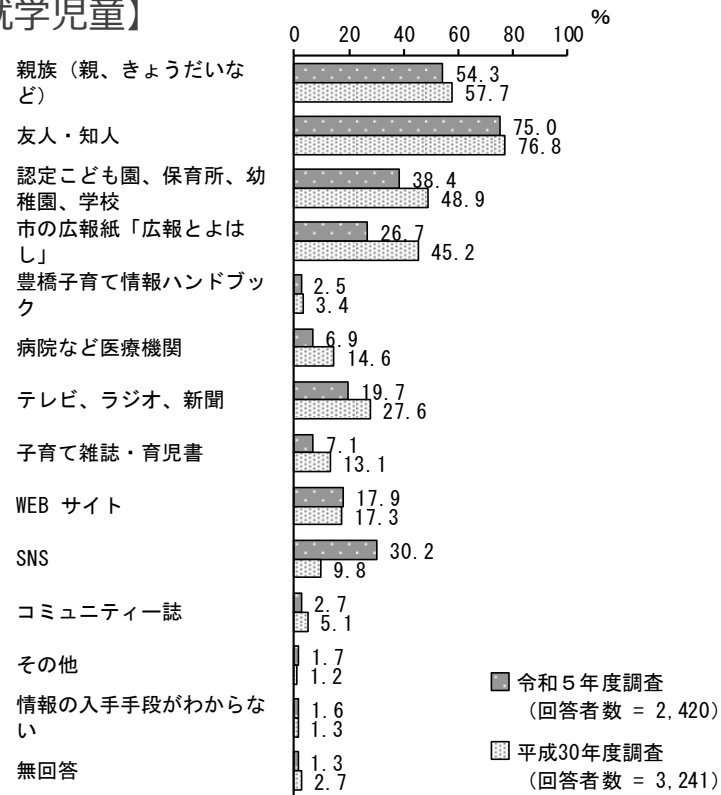
## 9. 子育てに関する情報の入手先

- ▶ 就学前児童、就学児童ともに、「友人・知人」「親族（親、きょうだいなど）」「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」の順に割合が高くなっています。平成30年度調査では、「広報とよはし」がそれに続いていましたが、「SNS」の割合が大きく増加し、就学前児童では46.0%、就学児童では30.2%となり、「広報とよはし」の就学前児童26.3%、就学児童26.7%をそれぞれ上回る結果となりました。

### 【就学前児童】



### 【就学児童】



## 10. 子どもの権利の尊重

- ▶ 「子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」があることを知っている」の割合は、就学前児童で37.3%、就学児童で32.3%となり、平成30年度調査の就学前児童28.6%、就学児童27.1%からは増加しています。また、「子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である」の割合は、就学前児童で67.2%、就学児童で57.8%と高い一方、社会や家庭においては、子どもの権利が十分に尊重されていないと考える保護者が多いことがうかがえます。

### 【就学前児童】

回答者数 = 2,457

子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」（日本も加入している）があることを知っている

子どもの権利を擁護し、子どもが健やかに成長できる社会の実現を目的とした、「こども基本法」があることを知っている

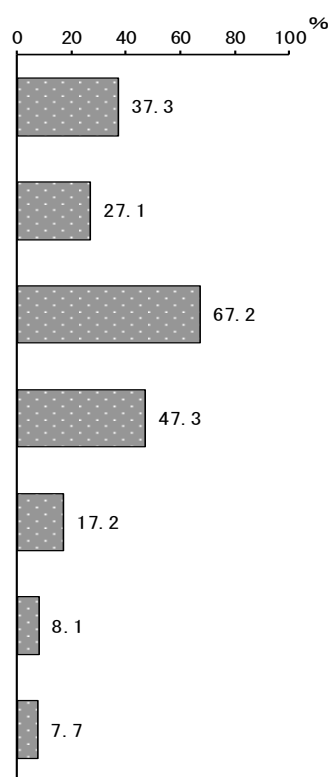
子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である

子どもの権利や意見が家庭で尊重されていると思う

子どもの権利や意見が社会で尊重されていると思う

子どもや子育て家庭が、社会の「まんなか」になった制度や環境が整備されていると思う

無回答



### 【就学児童】

回答者数 = 2,420

子どもの権利に関する国際的な条約「子どもの権利条約」(日本も加入している)があることを知っている

子どもの権利を擁護し、子どもが健やかに成長できる社会の実現を目的とした、「こども基本法」があることを知っている

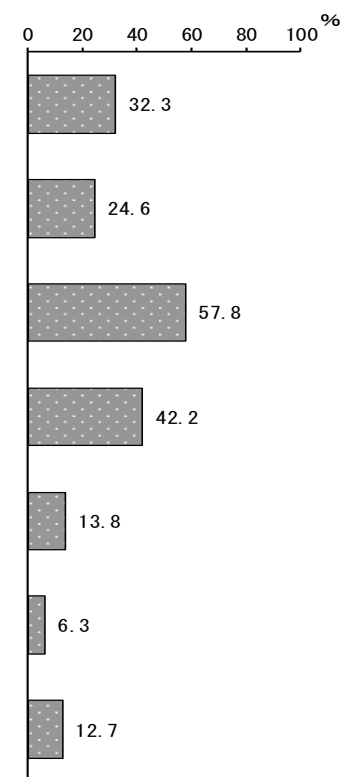
子どもの権利や意見が最大限に尊重されることが大切である

子どもの権利や意見が家庭で尊重されていると思う

子どもの権利や意見が社会で尊重されていると思う

子どもや子育て家庭が、社会の「まんなか」になった制度や環境が整備されていると思う

無回答



# 11. 子育て環境・支援サービスの評価

## (1) 現状の評価とこれからの期待

- ▶ 現在の子育て環境について、就学前児童では、「②子どもの教育環境が充実している」「⑧子育ての相談窓口が充実している」で“思う”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」）の割合が高くなっています。
- ▶ 平成30年度調査と比較すると、19項目のうち16項目で“思う”の割合が増加し、平均で11ポイントの増加となっており、子育ての相談窓口の整備や経済的支援などの施策が一定の評価を得ていると考えられます。一方、「⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している」「⑭子どものための医療施設が充実している」は“思う”の割合は高いものの、平成30年度調査からは減少しています。
- ▶ 就学児童では、「⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している」「⑭子どものための医療施設が充実している」で“思う”の割合が高くなっています。ただし、この2項目は就学前児童と同様に平成30年度調査から“思う”の割合が減少しています。
- ▶ 平成30年度調査と比較すると、「⑩子育て家庭への経済的援助が充実している」について、“思う”の割合が、就学前児童で16.0ポイントの増加に対し、就学児童では微減、また「⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる」については、就学前児童で21.2ポイントの増加に対し、就学児童では5.8ポイントの増加にとどまるなど、就学前児童では現在の子育て環境やサービスに対する満足度に大きな向上がみられたのに対し、就学児童では概ね向上はしていますが、5つの項目で“思う”の割合が減少するなど、全体での伸び幅は小さくなっています。
- ▶ これからの子育て環境に重要なものについて、「②子どもの教育環境が充実している」「③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている」「⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている」「⑭子どものための医療施設が充実している」「⑲子育て支援に積極的な企業が多い」で、「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」の割合が高くなっており、安心して教育や子育てできる環境の整備を求める意見が多くなっています。
- ▶ 平成30年度調査と比較すると、就学前児童では「重要だと思う」と「どちらかといえば重要だと思う」の割合が減少している項目がありますが、就学児童では1項目を除き増加しています。

# 11. 子育て環境・支援サービスの評価

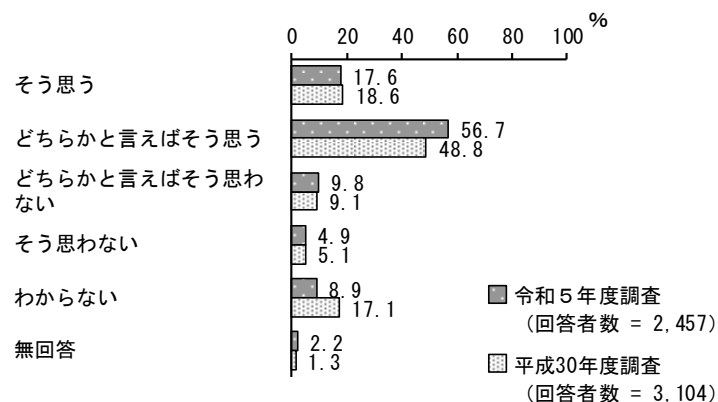
## (2) 平成30年度調査との比較

区分	就学前児童							就学児童						
	現在			目標値	これから			現在			目標値	これから		
	H30	R5	比較		H30	R5	比較	H30	R5	比較		H30	R5	比較
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	56.1	65.0	8.9	70.0	92.8	93.8	1.0	51.7	59.7	8.0	60.0	91.4	93.4	2.0
②子どもの教育環境が充実している	59.4	72.4	13.0		94.3	80.8	▲ 13.5	54.6	58.3	3.7	70.0	93.5	95.6	2.1
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	57.1	61.5	4.4	70.0	94.3	95.2	0.9	42.8	59.7	16.9	60.0	93.1	95.4	2.3
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	27.7	51.1	23.4	50.0	93.0	85.1	▲ 7.9	35.1	37.4	2.3	50.0	92.9	95.0	2.1
⑤児童虐待の早期発見や防止など子どもの権利を守る体制が整っている	36.1	43.7	7.6	60.0	93.3	91.8	▲ 1.5	34.3	38.3	4.0	60.0	94.0	95.3	1.3
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	47.9	61.8	13.9	80.0	93.1	87.6	▲ 5.5	-	50.6	-		-	94.7	-
⑦保育所などでの多様な保育サービスが充実している	56.8	56.7	▲ 0.1		92.0	93.5	1.5	54.2	54.0	▲ 0.2		91.2	93.2	2.0
⑧子育ての相談窓口が充実している	49.1	77.3	28.2	65.0	91.3	85.0	▲ 6.3	40.1	57.6	17.5	65.0	90.7	93.6	2.9
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	50.9	64.2	13.3		91.4	93.0	1.6	42.2	60.2	18.0		90.8	92.1	1.3
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	36.2	52.2	16.0	60.0	93.6	85.8	▲ 7.8	36.3	34.5	▲ 1.8	60.0	93.3	95.1	1.8
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	38.9	49.1	10.2	50.0	94.6	94.8	0.2	39.0	42.8	3.8	50.0	94.0	95.4	1.4
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	47.8	64.0	16.2	50.0	85.7	73.9	▲ 11.8	47.8	51.5	3.7	50.0	84.8	84.5	▲ 0.3
⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	68.6	66.6	▲ 2.0	75.0	92.9	91.4	▲ 1.5	66.1	65.6	▲ 0.5	75.0	92.9	94.5	1.6
⑭子どものための医療施設が充実している	75.1	71.6	▲ 3.5		94.7	81.7	▲ 13.0	68.9	62.9	▲ 6.0		94.6	95.8	1.2
⑮子育てが家族や地域の人に支えられている	57.8	62.2	4.4	80.0	92.3	92.3	0.0	57.5	57.3	▲ 0.2	80.0	92.3	93.2	0.9
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	48.2	63.7	15.5		86.9	74.4	▲ 12.5	39.8	40.8	1.0		85.2	85.4	0.2
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	40.1	53.4	13.3		90.1	92.4	2.3	37.6	39.9	2.3		89.5	90.6	1.1
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	32.2	53.4	21.2	35.0	92.0	76.3	▲ 15.7	28.0	33.8	5.8	35.0	91.4	93.2	1.8
⑲子育て支援に積極的な企業が多い	20.2	30.1	9.9	35.0	92.5	94.4	1.9	20.1	25.8	5.7	35.0	92.0	93.4	1.4

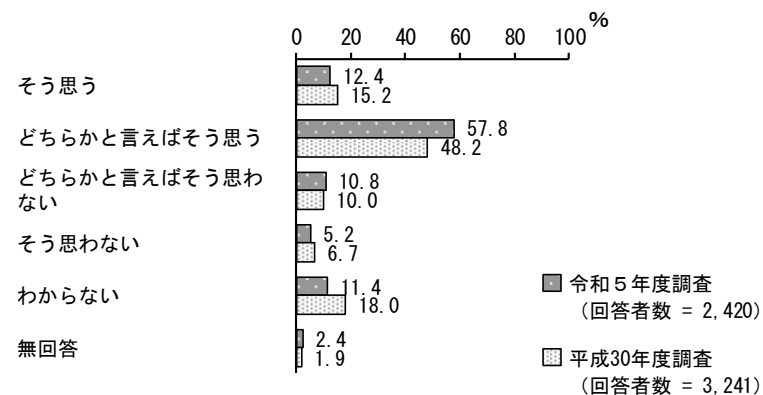
## 12. 子育てしやすさの評価 (1) 平成30年度調査との比較

- ▶ 豊橋市は子育てしやすいまちだと思うかについて、就学前児童、就学児童ともに、“思う”（「思う」と「どちらかといえば思う」）の割合が7割を超え、平成30年度調査結果と比較すると、就学前児童、就学児童ともに増加しています。
- ▶ 父母が共働きの世帯の方が、それ以外の世帯より“思う”の割合が高くなっていることから、本市で多数を占める共働き世帯にとって子育てしやすい環境づくりが進んでいると考えられます。

【就学前児童】



【就学児童】



## 12. 子育てしやすさの評価 (2) 就労状況別の比較

### 【就学前児童】

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	「思う」	「えい ない」 どちらかと言 えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	無回答
全体	2,457	17.6	56.7	74.3	9.8	4.9	8.9	2.2
父フルタイム×母フルタイム	836	18.8	59.0	77.8	9.8	3.6	7.4	1.4
父フルタイム×母パート	891	17.4	56.8	74.2	8.5	5.7	8.9	2.7
父フルタイム×母働いていない	483	16.8	54.7	71.5	12.6	3.9	10.8	1.2
父パート×母フルタイム	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	33.3
父パート×母パート	4	—	50.0	50.0	—	—	50.0	—
父パート×母働いていない	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—
父働いていない×母フルタイム	8	12.5	62.5	75.0	12.5	—	12.5	—
父働いていない×母パート	1	—	100.0	100.0	—	—	—	—
父働いていない×母働いていない	1	—	100.0	100.0	—	—	—	—

### 【就学児童】

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	「思う」	「えい ない」 どちらかと言 えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	無回答
全体	2,420	12.4	57.8	69.8	10.8	5.2	11.4	2.4
父フルタイム×母フルタイム	624	13.9	57.5	71.4	11.7	5.3	9.3	2.2
父フルタイム×母パート	1,121	11.8	58.9	70.7	10.6	4.4	11.8	2.6
父フルタイム×母働いていない	293	12.3	56.7	69.0	11.9	5.1	12.3	1.7
父パート×母フルタイム	7	14.3	42.9	57.2	14.3	—	28.6	—
父パート×母パート	7	28.6	42.9	71.5	14.3	—	14.3	—
父パート×母働いていない	2	—	—	—	—	—	100.0	—
父働いていない×母フルタイム	6	—	66.7	66.7	16.7	—	16.7	—
父働いていない×母パート	3	33.3	33.3	66.6	33.3	—	—	—
父働いていない×母働いていない	1	—	100.0	100.0	—	—	—	—